※令和４年度以降入学生用

学校番号	T0203

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	１単位	年次	１年次
使用教科書	家庭基礎　自立・共生・創造（東京書籍）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

身近な事柄をきっかけに、家族・住生活・保育について学びます。また、実習やグループワークを通して基礎的な技術を身につけることを目指します。

２　学習の到達目標

家族・住生活・保育に関する基礎的・基本的な知識と技術を習得する。
家庭や地域の生活課題を見出し、自分なりに考え、表現することができるようになる。
生活課題を主体的に解決し、生活の充実向上を図る力と実践的な態度を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	家族、住生活、保育に関する基礎的・基本的な知識や技能を身につけている。	家族、住生活、保育について課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	家族、住生活、保育について感心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	自分らしい人生をつくる	現代の家族の特徴について理解する	a: 家族に関する正しい知識を身につけている・家族に関する問題を解決する方法を持つことができる b: 家族を主体的に捉え自身の考えを持つことができる c: 家族について興味・関心を持てている	プリント 定期考査	プリント 定期考査	学習状況
		家族・家庭に関する法律を学ぶ				
		男女がともに家庭生活の責任を果たすことについて理解する				
	高齢社会を生きる	高齢者への支援のあり方を考える	a: 高齢社会に関する課題を解決する方法を持つことができる・高齢社会に関する正しい知識を身につけている b: 高齢社会を主体的に捉え自身の考えを持つことができる c: 高齢社会について興味・関心を持てている	プリント 定期考査	プリント 定期考査	学習状況
	住生活をつくる	住居の成り立ちと現代の住生活について学ぶ	a: 住生活に関する問題を解決する方法を持つことができる・住生活に関する正しい知識を身につけている b: 住生活を主体的に捉え自身の考えを持つことができる c: 住生活について興味・関心を持てている	プリント 定期考査	プリント 定期考査	学習状況 実習
		住む人の生活と住空間について理解する				
		健康で快適な住居と住まい方について学ぶ				
		住居実習 (耐震実験)				

※令和４年度以降入学生用

後期	子どもと共に育つ	乳幼児期の成長と発達について学ぶ	a: 保育に関する問題を解決する方法を持つことができる・保育に関する正しい知識を身につけている b: 保育を主体的に捉え自身の考えを持つことができる c: 保育について興味・関心を持てている	レポート プリント 定期考査	プリント 定期考査	学習状況 実習
		子どもの生活と保育について学ぶ				
		子どもの遊びを理解する				
		保育実習 （小物制作）				
		子どもの健康と安全について学ぶ				
		調理実習 （子どものおやつ）				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度